

よのうづの輪

～社協 米水津支部だより～

編集発行
佐社協
米水津支部

地域づくり大作戦 米水津支部事業 ～地域寄り合い座談会 IN 大内浦～

10月29日（木）大内浦地区のセンターにて「地域寄り合い座談会」を開催しました。これからの高齢化や地域を取り巻く現状についての話の後、さっそく自分たちの住む地域について、ご近所付き合い 不安に思うこと いいところ あったらいいな！と思うことなどについてざっくばらんに意見を出し合いました。

カーテンが開いていない家があれば「大丈夫かな」と気になり覗いてみる。

毎朝、軒先に黄色い旗を掲げ「今日も元気ですよ」と近隣へ伝える黄色い旗は今も続けている。

地区のサロンや茶の間に出席し顔を合わせるとお互いに安心する。



災害時、1人暮らしは不安が大きい。今回の台風は怖かった。

佐伯に行く時はコミュニティバスを良く利用する。帰りはタクシーも使う。

サロンや茶の間の回数がもっと増えたらいいかも。

少ない時間のなかで話しを伺い、色々な声を聞くことができました。最後には、参加者の代表が「これからも頼り頼られていきましょうや」の言葉に「そうやなあ」と参加者皆さん笑顔で頷かれていた様子がとても印象的でした。社会福祉協議会では、今後もお互いさまの関係 ささえあいのしくみ を地域住民と一緒に創っていきたいと考えております。

なお、米水津地区社協ではささえあいのしくみとして、29年より高齢者の抱える“ちょっとした困りごと解決として有償ボランティアグループ「米水津地区たすけ愛♥隊」が活躍中です。顔見知りの方が活動に伺うので初めての方でも安心です。代表電話番号 080-8566-7851 です。お気軽にご連絡・ご相談ください。

次回の地域寄り合い座談会は、浦代浦地区を予定しています。

祝 健康長寿百寿！おめでとうございます！



平間恒子さん（久保浦）が11月に百歳の御誕生日を元気で迎えられました。（大正9年生まれ）当事業所の利用者では2人目です。コロナ禍もあり、職員と利用者でささやかなお祝いをさせていただきました。デイでは、塗り絵やちぎり絵などをとても器用にこなしておられます。そして好きな食べ物をうかがったところ①甘いもの ②うなぎ だそうです。お元気の秘訣がわかりますね。どうぞこれからも楽しいお話を聞かせてください。

地域のみなさまに支えられています。お礼申し上げます。

社会奉仕の日の活動(9/30) 米水津老人クラブより代表5名の方が、デイサービス周りの環境整備をしてくださいました。慣れた手さばきと動きはとて老人クラブの方と思えない程とても頼もしい応援でした。伸びていた草を刈り、芝生を刈り片づけ作業まで行ってくださいました。緑に囲まれた施設で利用者もよい環境で過ごさせていただいております。

作業当日はまだまだ暑さが残る時期。振興局職員も応援いただきました。本当にありがとうございました。



さっそく! 活用させていただきます。

きれいに整備された広場で、ノルディックや芝歩行が安心してできるようになりました。天気の良い日には、屋外で有酸素運動や下肢機能訓練を行っています。



社協キャラクター“ひとしずくちゃん” がいっぱいです。社協だより 9.1 号でのインタビューをきっかけに黒澤渡さんより制作していただきました。花いっぱい運動の花壇でパチリ! とってもかわいいです。たくさんいただいたので、佐伯の本部にも届けました。



昨年から、文化祭に展示の部で参加をさせて頂いています。今年開催は見送られましたが、利用者による作品**「紅葉散る池の鯉」**が完成しました。公民館のご協力で、ホール入り口に展示させていただきました。是非多くの方に観ていただきたいです。コミュニティバスの待時間にもご覧ください。



ボランティアグループ「ひまわりの会」の活動 (11/17)

昨年3月から感染症の影響を受け、お弁当の配達を待っていただいております。そんな状況の中、会員が活動記載の手紙を作成し、声掛けのふれあい訪問を行いました。「日ごろは配達に追われゆっくと会話ができませんが・・・お変わりはありませんか」といつもとは違ったふれあいが実現しました。こんな時だから・・・交流がより深まった活動となりました。

思いを込めて...ひまわり会員が今できること



地域を歩く……

～地域の居場所 介護予防 地域のつながり～

色利郵便局前のお宅の壁に、気になる張り紙を発見しました。車を降り見てみると、色利浦地区の11月のお茶の間「いこいの会」の案内のお知らせでした。ローカル便りがなんと優しいこと! 地域役員さんの気持ちが伝わります。

ウォーキングやペタンク・カラオケや体操の日程が一目でわかるようになっていました。中でも気になったのが卓球バレーの日。どんな運動なのでしょうね。今度のぞき見してみようと思います。現在、他地区でも“交流の場”“孤立感の解消”としてさまざまな住民主体の運営が行われていますね。

